



やいづ 未来へつなぐ

No. 177
2024.11.15
9月定例会

議会だより

特集 ターンクルこども館
おもちゃ学芸員
えほんとサポーター ⇄ 市議会



ここに注目！

特集：未来へつなぐ	
市民インタビューVol.25	1
9月定例会概要	3
市政をただす！一般質問	6
各委員会の議案審査	14





子どもと一緒に遊ぶおもちゃ学芸員の加藤さん

来館者に施設の楽しさ・魅力を伝えたい！

「ターントクルこども館ボランティアスタッフ」のみなさんへ

議員が直接話を聞いて市民の本音に迫る「市民インタビュー」。
今回は、ターントクルこども館のボランティアスタッフ「おもちゃ学芸員・えほんとサポーター」の皆さんにお話を伺いました。

どんな活動をしているの？

ターントクルこども館のボランティアスタッフには、2階、3階にある「焼津おもちゃ美術館」のおもちゃ学芸員と、1階にある「えほんとサポーター」(こども図書館)のえほんとサポーターがあります。
おもちゃ学芸員は来館者の皆さまへ、おもちゃの使い方や遊びを案内し、焼津の豊富な自然や文化も伝えていきます。えほんとサポーターは、絵本の紹介や読み聞かせをすることで、来館者の皆さまと絵本を繋げていきます。

活動条件を満たし、おもちゃ学芸員養成講座の受講を完了すれば、ボランティアスタッフとして登録することができます。養成講座は年2回の開催で、ターントクルこども館のホームページから申し込みができます。

また、おもちゃ学芸員として登録した後、スキルアップ講座を受講すれば、電動糸鋸いとのこを使った木工体験のサポートをすることもできます。



えほんとサポーターによる読み聞かせの様子



インタビューの様子
左から原崎議員、川島議員、おもちゃ学芸員・えほんとサポーターの皆さん

活動を始めたきっかけは？

市外や県外のおもちゃ美術館に自分の子や孫を連れて遊びに行っていたことがあり、その時にボランティアのおもちゃ学芸員がいつも見守っていてくれたのがきっかけです。こういった施設が焼津にもあれば良いのにな、と思っていたら焼津にも出来るという話を聞き、子育てが大変な方たちのサポートが出来ればと思い参加しました。

活動を通じて感じたことは？

ターントクルこども館には市外や県外の方も多く訪れています。非常に良い施設だったのでまた来たいと言っていたことも多く、改めてこの施設の素晴らしさを実感しています。

来館される方は親子でいらっしゃる方が一番多いです。幼稚園ぐらいの年のお子さんだと直接話しかけても怖がってしまうので、そういった時はお母さんと話をするようにしています。お母さんが仲良くしている人だったら、一緒に遊んでみても大丈夫かなって思うお子が多いと感じます。

他にも、お年寄りの方がいらっしゃることも多いです。おもちゃ美術館には、けん玉やコマ回しなどの昔の遊びやおもちゃがあり、性別を問わず、お年寄りの方でも熱中してしまうような体験をすることが出来ます。また、館内でゆっくり過ごしていただくのも良いかと思えます。少しの時間であつても、そういった時間を過ごしてい

ただけると、人生が豊かになるのかなと思います。



おもちゃで遊ぶ子どもとおもちゃ学芸員

行政や議会に期待することは？

市内のお年寄りや子どもなどがもっと気軽に来ていただけるような環境整備をしていただけると、この施設をよりたくさんの人に利用してもらえきつかけになるのではないかと思います。

皆さんに知っておいてほしいことは？

私たちがボランティアとして楽しみながら活動をさせていただいている中で、ターントクルこども館を訪れるお客様にもこの楽しさを伝えていきたいと思っています。子育てをしている方にとって、子どもが小さい時期はその時しか無く、取り戻すことができないものだと思っています。

そういった時期だからこそ、親子でスキップを図りながら「今」の時間を大切にいただくとともに、ぜひターントクルこども館を利用していただければと思います。



おもちゃ美術館で遊ぶ親子

インタビューに答えてくれた皆さん

(表紙の右側の方から)

北野 嘉英さん
池ヶ谷幸子さん
池谷 和恵さん
加藤 弥生さん

開館時間や入館料などについては、ターントクルこども館HP（左記二次元コード）をご覧ください。



定例会 概要

令和5年度全会計の決算を認定！

市議会9月定例会は、9月2日から10月3日までの32日間の会期で開かれ、市長提出議案28件、議員提出議案1件を審議して可決、市長報告事件5件、監査委員報告事件4件を了承

9月2日 本会議第一日

- ・ 人事案件4件を上程し同意（市長提出）
- ・ 市長専決処分による報告（承認案件）3件を上程し承認
- ・ 決算12件（一般会計1件、特別会計8件、企業会計3件）、補正予算3件（一般会計1件、特別会計2件）、条例案件1件、一般案件1件を上程（市長提出）
- ・ 一般案件3件を上程、質疑、委員会付託、討論、採決を行い可決

9月4日 本会議第二日

- ・ 補正予算1件（台風第10号被害対応）が追加上程され、委員会審査を経て、可決（市長提出）

9月17日・18日・19日 本会議第三日～第五日

- ・ 一般質問15議員（P6～13参照）
- ・ 議案質疑3議員

9月20日・24日・10月1日 各委員会の議案審査

- ・ 各委員会付託された議案を審査（P14～17参照）

10月3日 本会議第六日

- ・ 9月2日に上程された17議案の審査結果報告及び討論を経て、全て可決（P4・5参照）
- ・ 意見書1件を採択し国へ送付（議員提出）（P18参照）

主な議案の審議結果



令和5年度焼津市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入 134億9,151万4,395円
歳出 126億 704万7,983円

全会一致認定



令和5年度焼津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入 128億 808万 938円
歳出 126億7,572万9,035円

賛成多数認定



令和5年度焼津市一般会計歳入歳出決算認定について

歳入 661億1,749万9,959円
歳出 623億8,850万8,558円

全会一致認定



令和5年度焼津市水道事業会計決算認定及び余剰金処分案について

事業収益 23億3,950万7,733円
事業費用 18億7,259万2,114円
当年度純利益 4億6,691万5,619円

賛成多数認定及び原案可決



令和5年度焼津市病院事業会計決算認定について

事業収益 145億2,126万2,319円
事業費用 146億8,681万2,804円
当年度純損失 1億6,555万 485円

全会一致認定



令和5年度焼津市公共下水道事業会計決算認定について

事業収益 17億7,901万1,247円
事業費用 18億 558万3,112円
当年度純損失 2,657万1,865円

全会一致認定



令和6年度焼津市一般会計補正予算(第8号)案

増額7千万円

令和6年台風第10号による被害への対応として、河川海岸、治山林道、道路等の維持管理などに必要な経費を増額

全会一致原案可決



令和6年度焼津市一般会計補正予算(第7号)案

減額176万7千円

生活者応援事業費などの事業実施に必要な経費の追加や、交付金の交付決定などに伴う減額などを行うもの

全会一致原案可決



令和5年度焼津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入 20億2,143万4,550円
歳出 19億5,950万6,190円

全会一致認定

議案28件中、賛否が分かれた採決状況

(○印は賛成、×印は反対 内田修司副議長は可否同数の裁決以外は採決に加わりません。石田江利子議長は欠席。)

議案名		議決結果	賛成:反対	四之宮	鈴木ま	井出	藤岡	村田	原崎	吉田	奥川	石原	内田	増井	河合	石田	村松	川島	杉田	岡田	秋山	池谷	鈴木浩	深田	
市長提出議案	認第15号	令和5年度焼津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	16:3	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	
	認第21号	令和5年度焼津市水道事業会計決算認定及び剰余金処分案について	認定及び原案可決	17:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
	議第54号	焼津市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	15:4	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×
	議第55号	静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決	15:4	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×

- 認第15号 令和5年度焼津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
 - 議第54号 焼津市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議第55号 静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- に対する討論の主な内容を掲載します。

反対討論 杉田 源太郎 議員

認第15号については、国保の被保険者数は令和元年と比べ約4100人減少し、一人当たり11万3250円と、高すぎる保険料だ。低所得者が多く滞納者は約2千人。会計は黒字が続き支払い準備基金は11億円となった。2億5千万円余を取り崩せば均等割を1万円引き下げられる。

議第54、55号は健康保険証の新規発行廃止が根拠の議案である。マイナカードの取得は任意だが、マイナ保険証の取得を強要するのは矛盾している。また、マイナ保険証を登録していない場合は「資格確認書」が交付され、登録済の場合「資格確認書」の交付にはマイナ保険証の登録解除が必要だが、政府はマイナ保険証の登録解除が10月からできる旨の周知をしていない。当該議案は到底認められない。

賛成討論 吉田 昇一 議員

認第15号については、国保会計の繰越金は高齢化と医療の高度化による一人当たりの医療費の増加など、国保財政の安定運営のために充当することが適切であると考えます。収納率も昨年度に比べ上昇し、法定外繰入も行われていないことから、国保会計の健全な運営が行われていると認められる。

議第54号については、焼津市国民健康保険条例を法改正に合わせ改正しようとするものであり、整合を図るために必要な改正であると考えます。議第55号については、法改正により、令和6年12月2日から後期高齢者医療被保険者証及び資格証明書が発行されなくなることから、同規約の文言を変更するものであり、必要な変更であると考えます。

市政を質す！

一般質問

9月定例会では、15議員が一般質問を行いました！

議員個人が市の執行機関に対して、市の事務の執行状況や今後の方針などについて質問を行います。

スマートフォンやタブレットをお持ちの方は、右記2次元コードからもアクセスできるほか、各議員の顔写真下に掲載された2次元コードから直接、議員の映像配信をご覧ください。



狭あい道路（4m未満の生活道路）の整備促進を

- Q** 狭あい道路は幅員1・8m以上、4m未満の市道である。道路は、家屋倒壊の救助活動等で重要な施設であり、緊急車両の通行等、狭あい道路のリスク解消が必要と考えるが、狭あい道路（生活道路）の整備に、国の補助はあるか。
- A** 補助があるため、財源の一部として活用しながら整備を進めたい。
- Q** 事業の周知や普及の進め方は。
- A** 事業の要綱を見直しており、拡幅対象の1つを交差点単位の区間としていたが、その中間で延長が20m取れれば事業を採択できるような検討している。新たな要綱が確定後、建築団体にも理解をいただきたいながらPRしていきたい。



狭あい道路整備事業工事施工箇所
(五ヶ堀之内大竜寺東線)

地域交流センターの充実 支援と自治会の負担軽減

- Q** 自治会・自治協力員の負担軽減は。
- A** 引き続き自治会運営の負担軽減策を模索するとともに、自治会のDX化に向けた支援を行う。
- Q** 新たにスタートした地域交流センターは、今までの公民館の機能に加え、近年複雑化する地域の課題に対して行政と連携して解決していくための支援が期待されている。今後の地域交流センターの体制整備はどうか。
- A** さらに多様化、複雑化が予想される地域課題やニーズに適切、かつ柔軟に対応するよう組織体制の充実を図る。

海の顕彰碑

- Q** 移設と記憶の伝承はどうか。
- A** 今後の漁港の整備計画を踏まえ関係者と協議していく。



おくがわきよたか
奥川清孝
(凌雲の会)



仮称「焼津未来デザイン」

Q 仮称「焼津未来デザイン」の進捗状況と市全体のデザイン及び各地区別デザインの策定予定は。

A 昨年度全体のデザイン案を取りまとめし、現在地区別の構想を進め、今年度中に取りまとめていきたい。

Q 総合計画や都市計画マスタープランの改訂予定は。

A 総合計画は令和8年4月から移行、都市計画マスタープランの見直しは令和7年度末を予定している。

Q 市民からの意見を募る機会は。

A 地区別の検討後にパブリックコメントの方は実施したい。

Q 大井川港周辺地区のデザイン策定についての考えは。

A 物流港としての機能拡大や大井川港を活かした新たなにぎわい創出の観点で検討している。

Q 大井川港周辺地区のにぎわい創出についての考えは。

A 新たなにぎわいの拠点を作っていききたい。クルーズ船も2年後



よしただいすいち
吉田昇一
(凌雲の会)



寄港の段取りで今整理している。



大井川港初寄港の帆船日本丸

空き家の利活用対策事業

Q 空き家除去事業、子育て世帯移住定住応援事業について次年度以降どのようなになるのか。

A それぞれの事業区間は令和4年度から令和6年度としているため、次年度以降の補助制度の継続は、現在検討している。

Q 地域と協力した空き家等の利活用については。

A 地域の皆さまから空き家の利活用などの希望がある場合には、所有者の同意が必要となるので地域の声を所有者に伝えるなどの協力をしていきたい。

石津浜公園をはじめとした松林の維持保全

Q ①コンクリート堤防の西側②小高く盛り上がった堤防③松の小径の松林、以上管理方法を伺う。

A ①②石津浜公園の敷地内であるので都市公園の指定管理者が管理している。③市が街路樹の一つとして管理している。原則として土地所有者が管理を行うものであるが、農地や住宅などを潮風から守るものであるため、県、市及び自治会の三者で策定した焼津海岸防災林共同管理計画に基づき、共同管理が行われている。草や低木などの管理は、地域の皆さまによる樹木の枝払いや草取り、落ち葉の清掃など日常管理への協力をお願いしたい。

Q 枝が大きくなった部分の剪定は。落下の危険があるなど、緊急性の高いものは市が順次作業を行う。

Q 高所作業車が必要な場合は。規模がかなりの延長とかボリュームがある場合は自治会、地域からの要望書を提出いただけるとありがたいと考えている。



ほらぎひろかず
原崎洋一
(凌雲の会)



剪定された松の小路

市の配布物、回覧物の考え方

Q 全戸配布を自治会の判断で組回覧に変更することはどうか。

A 自治会の様々な事情により組回覧でも差し支えない。

Q 自治会未加入世帯には全戸配布、組回覧の情報は届いていないが、市はどのように考えるか。

A 自治会を通じて周知をお願いするご案内は、同時に市ホームページや市公式LINE等を活用し、情報を発信している。

Q 配布物、回覧文書が増えて自治会の負担が大きくなっているが問題を感じたことはないか。

A 自治会連合会にてDX化の検討会が立ち上がっている。

自治会活動にデジタル技術の導入推進を！

Q 本年2月に焼津市デジタル田園都市構想総合戦略を発表した。この中で、地域における自治会活動の効率化、活性化に向けた自治会活動のデジタル化の現状と今後の課題について伺う。

A 主な取り組みの一つとして、デジタル回覧板等で地元地域や自治会内の情報共有を円滑化し、適宜交流会も創出し、自治会運営の負担を軽減するなど、地域活動運営を支援することを掲げている。

Q 自治会連合会で立ち上げたデジタル化検討会への市のかかわり方の状況はどうか。



焼津市デジタル田園都市構想総合戦略



川島 かなめ
(公明党議員団)



A 市内35自治会のうち19の自治会長が検討会へ参加。市の支援としては、各自治会により状況がさまざまであり、自治会の取り組みに即した情報提供を行っている。

Q 各自治会から相談はあったか。
A 近隣市でのデジタル化への先進事例についてあった。

指定避難所内におけるトイレの衛生環境整備を！

Q 国は本年6月に防災基本計画を修正し、指定避難所へ仮設トイレの早期設置に加え簡易トイレ、トイレカー、トイレトレーラーで快適なトイレの設置に配慮するよう市町村に要請した。本市における指定避難所トイレの衛生管理への整備はどうか。

A トイレトレーラーの導入には、車両の維持管理や運転資格などの課題がある。今後の開発状況や全国的な配備状況、運用事例を調査研究していく。

大井川地区の津波対策

Q 津波対策の全体について伺う。

A 焼津市地震・津波対策アクションプログラム2014にある防災・減災対策の93%が目標達成している。取り組みの継続と、さらなる対策を推進している。

Q 潮風グリーンウォークの進捗状況はどうか。
A 今年度末までに栃山川から大井川港までの約5・1kmのうち約4・9kmの堤防が完成見込みだ。

Q 今後の対策は。
A 来年度から藤守川における津波対策施設的设计などを実施し、早期の工事着手を目指す。また、訓練や講座、防災教育などにも努め、ハードとソフトを組み合わせた取り組みを進めていく。

Q 藤守川の対策として計画している施設の概要と予算の見込みは。
A 従前の検討結果を踏まえ、構造を決め、事業費を算出したい。

地域公共交通の改善状況

Q 方針について伺う。



井出 哲哉
(凌雲の会)



A 将来のまちづくりと連携した焼津市地域公共交通計画を策定し再編、改善に取り組んでいる。

Q 人口カバー率が目標値を超える95%になった要因は何か。
A デマンドタクシーの運行による空白地の解消、大井川地区の再編に伴い、停留所を自主運行バスに比べ約40か所追加したため。

Q 大井川地区のデマンドタクシーの利用者数が約2倍増とのことだが、実利用者数は。
A 令和4年度が87人、令和5年度が143人である。

Q 現在の3地区以外でのデマンドタクシーの導入はあるか。
A 豊田地区の一部と東益津の下根方地区への導入を検討している。



大井川地区デマンドタクシー「くるりん号」

公共入札制度を考える

Q 競争入札参加資格登録業者の総合評定値はどのように算出されるのか。この数値が入札時に有利に働くのか。

A 経営事項審査による点数であり、完成工事高、経営規模、技術力などを評価して算出される。工事の発注区分は、この点数を基に行い、工事規模に応じた業者を選定し、入札執行している。

Q 総合評価落札方式の入札の利点は。

A 価格と品質の両方を総合的に評価して、落札者を決定することができる。

Q 大型公共施設工事に関し、将来補修管理などができる地元事業者を選定する考えはないか。

A 入札の公告において、地元事業者の活用についての提案を条件として建設工事の種類、規模などを踏まえてやっている。

音楽教育の充実を図るために

Q プロのオーケストラと連携し、



おかだみつまさ
岡田光正
(無党派)



本格的なプログラムにより、年に数回のコンサートまたは学校巡回をする事業を考えたらどうか。

A 学校行事などの教育活動は、各校が自校の児童・生徒の実態、保護者や地域の願いなどを踏まえて検討し、計画、実践するものと考えている。

観光施設での避難対策

Q 観光施設の避難訓練はどのように実施しているか。

A 施設管理者において、事前に避難場所等を定めて、来訪者にも周知し対応いただいているがさらに観光部局として呼びかける。



来訪者の迅速な避難を支えるために

焼津漁港が新たに賑わいを生み出す大きな転換期に

Q 今年度海業モデル地区に選定され、新たな水産業の振興に繋がると思うが、海業の展開に合わせて漁港周辺に産業観光機能をもつ施設を計画できないか。

A アクアスやいづに近接した市有地を海業の拠点計画の軸と位置づけ、新たな水産観光交流施設について3年以内の整備を検討し、水産物直売施設の他、レジャー機能や宿泊機能など、複合的な整備を順次検討していく。

Q 使用可能な敷地面積は。

A 最大約3・3haを見込んでいます。



水産観光交流施設整備が検討される焼津漁港のアクアスやいづ近くの土地

山の軸の活用

Q 高草山ハイキングコースの維持管理を今後どう考えるか。



かわいかずや
河合一也
(凌雲の会)



A 小規模な修繕は地元の皆さまに委託業務の形でご協力いただき、大規模な修繕は専門業者が対応し、今後地元の意見を踏まえて適切な維持管理に努める。

Q 高草山を主とした山の軸をどのように活用していくか。

A 景観や歴史文化資源を活かした整備をしてきた。市は山林整備による景観形成を図り、ハイキングコース周辺には既存樹木を活かし、季節を彩る樹木を植樹するなど景観の質を高め、緑の名所づくりを進めていきたい。

浜目トンネル通行止めにおける支援と今後の対応

Q 市の支援について伺う。

A プロジェクトチームで具体的な支援を検討し継続的に実施する。

Q 県の今後の対応や現状は。

A 原因究明に向けた調査方法を検討し地質調査を実施する。12月の対策検討会で専門家の意見を聞く中で対策を検討する。

地域で支え合う 子育ての充実へ

Q ファミリーサポートセンター事業について、会員の登録、利用状況を伺う。

A 会員の登録状況については、令和6年7月末時点で846人であり、利用状況については令和6年4月から7月末までで延べ736件であり、昨年同月比で129件増加をしている。

Q 提案として、ファミリーサポートセンター内に新たな枠を設けて、チャレンジ教室や子どもの居場所などにおいて、人員が足りないときに活動できる組織をつくることはどうか。

A 地域で活動できる取り組みにつ



焼津市ファミリー・サポート・センター
(焼津市総合福祉会館2階)



すずき まき
鈴木まゆみ
(無党派)



いては、これから研究をしたいと考えている。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

Q 健康被害について本市の今までの健康被害救済制度の申請件数、認定件数を伺う。

A ともに10件である。

Q 自己増殖型mRNAワクチンは安全性の担保が不十分と考えるが、どのように評価しているか。

A 国の薬事審議会での審査を経て厚生労働大臣が承認するもので本市は評価をする立場にはない。

Q 行政から各医療機関、施設へ通達してほしいがどうか。

A 医師会へ情報提供を行い、各医療機関の方で適切に対応していただけるものと考えている。

Q 医療機関等へ治験者数、死亡者数、健康被害救済制度の人数などを数字で示すことはできるか。

A 医師会へ健康被害の状況を説明し、数字も示している。

南海トラフ地震から 市民の命を守る対策

Q 8月8日に発生した日向灘を震源とする地震を受け、政府は南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表し、地震発生から1週間を特に注意を要する期間として防災対策の徹底を求めた。今回の情報発信や対応を検証し、市民の命を守る防災・減災対策の強化につなげる契機にすることが重要である。

Q わが家の専門家診断を令和6年度、耐震補強工事を令和7年度に、補助事業を終了予定としている。8年度以降の補助制度について、どう考えているか。

A 県との協議も踏まえた上で検討していく。

Q 国交省で作成された住まいのエンジニアリングノートを活用する考えはあるか。

A 市民の皆さまに活用していただきたいと考えている。

Q 災害時協力井戸制度の検討は。災害時協力井戸登録事業実施要綱の作成を進めている。



すずき ひろみ
鈴木浩己
(公明党議員団)



Q マンションなどの集合住宅への防災備蓄資機材配備支援は。

A 自主防災会に対する防災資機材の補助制度を活用する方針で、制度設計の検討を進めていく。

Q 住民防災対策事業の拡充として非常用トイレ等への拡充は。

A 市民の皆さまのニーズに対応できる支援制度の調査研究を行っていく。

Q ラップ式トイレの配備についてどう考えているか。

A 快適なトイレ環境が見込まれる。積極的に備蓄数の増加を図り、分散配置の充実に努めていく。



南海トラフ地震から
市民の命を守る

高齢者、障害者、子ども達を 猛暑から守る対策

Q 高齢者、障害者へのエアコン設置補助件数はどのくらいか。

A 高齢者世帯14世帯、障害者世帯1世帯である。

Q クールタオルを高齢者の方に民生委員さんがどのような基準で配布されたのか。

A 民生委員の皆さんには、日頃の活動の中で、独り暮らしの高齢者など熱中症予防の啓発が必要だと思われるような方に配布していただくようお願いした。

Q 小・中学校体育館空調設備設置事業の進捗状況は。

A 中学校全9校では、10月下旬頃から施工を開始し、今年度中に完了する予定である。小学校全13校についても今年度中に工事に着手する予定である。

海のまち焼津っ子の水泳授業

Q 従来通り自校プールで水泳授業を行った学校において問題点があったか。



むらた まさはる
村田正春
(凌雲の会)



A 近年の猛暑も含め、天候による影響を受けやすく、計画的、継続的な指導が困難となっていること、猛暑によって薬品投入や給水の回数増、水質等の管理が学校の負担増になっていること、プールや設備の経年劣化が進んでいくことなどが挙げられる。

Q 昨年度と今年度の自校外での試行を受け、小・中学校の水泳授業の今後の方向性をどのように考えているのか。

A 小学校では専門スキルを持つインストラクターに指導補助を依頼すること、また、屋内プールを使用することが望ましいと考えている。



水泳授業で使用する
ディスカバリーパーク焼津水夢館

市民の多様な視点をまちづくりにつなげる工夫を！

Q まちづくり市民集会で出された意見をどう生かしているか。

A 情報の共有を目的に開催しているが、意見や感想は職員も共有し業務の参考にしていきたい。

Q 愛知県新城市では若者議会・女性議会を置き、政策提言を事業にしている。市ではどうか。

A 若者や女性に限らず多様な意見を頂戴する機会を設けており、設置は考えていない。

Q 公正でより良いまちづくりのために内部通報制度は重要であるが市の運用はどうか。

A 公益通報者保護法に基づき要件を定めている。通報窓口を総務部人事課に設置し、通報者に不利益な取り扱いが行われないように配慮した上で適切な措置を講ずることとしている。

公共交通（バス）回帰策を！

Q ライフスタイルを見直すきっかけとして一定期間、公共交通（バス）の利用料を無料にする実証



あきやまひろこ
秋山博子
(無党派)



A 実験が有効ではないか。市内利用者は増加傾向にあり実証実験は考えていない。

コロナ対策事業の検証を！

Q 例えば尼崎市は職員の活躍は市の誇りであるという言葉が冒頭にあり幅広い事業の検証をしている。記録を集めてまとめるだけでは足りないのではないか。

A 近日中にできるが内容を加味するかどうか検討の余地はある。

重層的な防災対策を！

Q トイレトレーラー導入とトイレ支援ネットワークへの参加はどうか。

A 研究をしていく。



4基の水洗トイレを装備した
トイレトレーラー
(富士市)

焼津IC周辺と大井川焼津藤枝SIC周辺のこれから

Q 焼津インターチェンジ周辺の都市計画道路焼津広幡線と周辺市道の整備の進捗状況と大井川焼津藤枝スマートインターチェンジの周辺のこれからについて伺う。

A 焼津広幡線については、県の事業であり、令和10年度の4車線全面開通に向けて、昨年12月に東名高速道路交差部の管渠工かんきゅうが完了した。市においては、県と連携し、道路の付け替え整備や事業用地の確保などを協力して進めている。周辺の八幡地区は、市民や観光客でにぎわう拠点の形成を図ることとしており、越後島地区については、工業系、流通業務系、土地利用などの市街地環境整備検討地に位置づけている。大井川焼津藤枝SICは、準備組合による合意形成が図られ、地区の活性化を目指したまちづくりが実現されるよう、関係権利者の皆さまに丁寧に取り添いながら、引き続き支援を行っていききたい。



むらまつ ゆきまさ
村松幸昌
(凌雲の会)



市民ニーズに応えられる安心・安全な公園

Q 安心・安全効果について、生活の質の向上効果はどうか。

A 市内11か所の都市公園を災害発生時の避難地として指定し、防災備蓄倉庫や飲料水の耐震性貯水槽、防火水槽を備えるなど、都市の安全性を向上させる効果がある。また、生活の質の向上効果として、子どもの健全育成の場の提供、心身の健康増進、コミュニティの形成、季節感などの景観を形成する、などの効果がある。



石津西公園 防災備蓄倉庫

ワクチン被害者の実態把握とレプリコンワクチンの接種中止を

Q 市内の健康被害救済制度のうち、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に関する進達件数、認定数、否認件数、審査未了件数の現状を把握しているのか、その数を伺う。

A 予防接種健康被害救済制度の通達件数、認定件数は共に10件、否認件数、審査未了件数は共にゼロである。

Q 請求から認定まで迅速化の支援、ワクチン接種後の体調不良の相談窓口の設置、情報提供、現状把握などを含めて進めていくべきだと考えるが、本市における現状の認識と今後の取り組みはどうか。

A ワクチン接種後の体調不良の方に対しては、健康づくり課が相談窓口となり、相談内容に応じた情報提供を行っている。また、体調不良の方の把握については、予防接種法により、市に情報提供された副反応疑い報告書により把握をしている。



いしはら たかゆき
石原孝之
(無会派)



Q レプリコンワクチンに関して、症例報告書や治験の数が少なく、危険ではないかと多くの方が危惧している中で開始されようとしているが、市の見解を伺う。

A ワクチンの評価は、国の薬事審議会の審議を経て厚生労働大臣が承認しているので、本市は評価をする立場にない。

Q 10月1日から開始する定期接種に伴う費用負担の補填はいくらになるか。

A 被接種者の負担が3800円、市の手技料等の負担が3740円、国からの助成が8300円の費用負担である。



mRNA (遺伝子) ワクチン中止を
求める国民連合より抜粋

大井川焼津藤枝スマートーC 周辺まちづくり事業化検討委託

Q 委託業務内容で土地利用構想の作成とあるが、対象地域は全て市街化区域になるという前提か。

A 市街化編入は準備組合が作成する土地利用構想を基に県と協議し調整。現時点、未定である。

Q 委託業務内容で準備組合運営支援として「事業化に向け課題の整理」とあるが、「課題」とは。

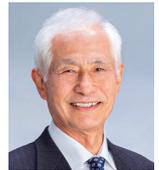
A 県の都市計画方針との整合を図る協議の中で明確になる。

Q 事業化検討委託予算が執行されなかった2年間、地域の営農者などのような対応をしてきたか。

A 今後の農政の展望等の意見交換や、先進技術の視察等を行った。



優良農地が広がる「まちづくり」対象地域
(つつじ平団地側から)



すぎたげんたろう
杉田源太郎
(日本共産党市議会議員)



Q 米不足が報道されている。市内の優良農地・農業と市民の食を守る立場として、農政の対応は。

A 新規就農者育成支援や担い手の農地集積を加速させ、地域の実情に合わせて農業振興に取り組む。

南海トラフ地震・津波による災害対策

Q 地震発生を予知することはできない。津波到達時間と地域ごとの津波の高さの想定は。

A 最大級の津波の高さは焼津港付近6m、藤守川河口付近8m。50cmの津波到達が最短で2分、最大津波は25分を想定している。

Q 津波想定地域での避難計画と訓練状況は。

A 地域防災計画で避難方法や避難所が定められ年3回の避難訓練を実施している。

Q 原子力災害発生時のUPZ圏内市町間での避難優先順位は。

A 発電所の状況や各市町の放射線測定値により国が判断する。

台風10号の影響であちこちが道路冠水、道路情報の提供充実を

Q 8月29日午後から県道静岡焼津線(旧150号)、駅前通り、郵便局本局近くの道路、赤塚川、浅草通り、小石川危険水位、石津港町、和田郵便局付近、駅地下道、八楠、野秋など、河川の越水や道路の冠水情報が多数寄せられ市に報告をしたが、怖い思いをして移動した方が何人もいた。29日夜は国道150号(広野から八楠)の通行止めがされたが、30日に50台水没車の報道、市民の方からは国道150号を迂回したのか、線路沿いに多数の水没車の情報があった。

A そこで、何センチになったら通行止めにするか。また、市からの情報提供や迂回等の情報提供はどうだったか伺う。

A 水深15cmを目安として、道路の重要度や交通量、現場の地理的状况などにより対応している。道路冠水に関する注意喚起を同報無線で放送したほか、国道や地下道の通行止め情報をやいづ



ふかだ
深田ゆり子
(日本共産党市議会議員)



防災メールや市ホームページなどを通じて市民の皆さまへお知らせをし、迂回を促した。

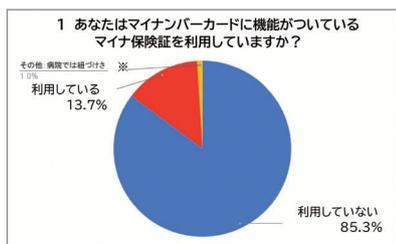
Q 国道150号は水位計が設置された。県道静岡焼津線も水位計を県へ要望されたいがどうか。

A 県の島田土木事務所に伝える。

紙の保険証の廃止は撤回を

Q 広報やいづ9月1日号にマイナ保険証利用登録をと強要。資格確認書もあるのではないか。

A マイナ保険証の代わりに資格確認書の利用も可能ということも含め丁寧に説明し、市民の皆さまが混乱しないように対応する。



1の回答補足 ※その他：病院では利用しない。理由は受給者証が紐づけされていない為。薬局では利用します。

市民102人対象の
「マイナ保険証の利用アンケート」より
2024/8/29～9/11 調査：深田ゆり子

水道管の基幹管路を更新

焼津市水道ビジョン・経営戦略に基づき計画通り更新

《総務文教常任委員会》

令和5年度焼津市病院事業決算認定について

Q 病床数を減らしたが病床稼働率が76・6%である。この率は稼働状況としてどうか。

A 76・6%は非常に低い状況である。これは新型コロナウイルス感染症の拡大により患者が大きく減少した影響である。現状は少しずつ戻ってはきてはいるものの、新型コロナウイルス感染症拡大前の状況には戻り切っていない。

Q 医師養成費について、増額となっている理由は。

A 就学資金貸付金を受けた医師2名が、その後焼津市立総合病院に就職したことにより、償還を免除したことが主な要因である。

Q 「新病院建設基本設計再検証支援業務委託」及び「新病院建設基本設計修正業務委託」の業務内容は。

A 「新病院建設基本設計再検証支援業務委託」は新型コロナウイルス感染症拡大によって病院を

取り巻く環境が大きく変化したことなどを検証し、基本設計をどのようにしていくのか見直しの提案等を行った。「新病院建設基本設計修正業務委託」については令和3年度に取りまとめた基本設計をベースにして令和5年度にまとめた見直し案を院内プロジェクトチームや建設委員会と調整をはかり設計の再修正を行うものである。

《建設経済常任委員会》

焼津市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定

Q 焼津温泉の利用実績は。

A 施設での利用は合計7万9108tで、収入は約2175万円。本庁舎北口の温泉スタンドは7・14tで約77万円の収入があった。

Q 温泉事業拡大推進事業費の内容は。

A 焼津温泉のPRを目的に、温泉の効能や効果を科学的に検証した。

Q 検証で分かったことは。

A 焼津温泉の入浴後は、沸かし湯に比べフレッシュ感など約2

倍の効果があるということが分かった。

焼津市水道事業会計決算認定及び剰余金処分案

Q 水道管更新工事の実績は。

A 老朽管の更新が9件、基幹管路が1件、区画整理や道路改良に伴うものが9件である。また、水源から配水場への導水管更新1件で、総延長5332mを施工した。

Q 基幹管路更新の進捗状況は。

A 焼津市水道ビジョン・経営戦略2020に基づき、計画値42・1%のところ実績値43・9%と、概ね計画通り更新している。

焼津市港湾事業特別会計歳入歳出決算認定

Q 大井川港活性化事業の内訳および内容は。

A 主にポートセールスの職員旅費と、業務委託に要した費用である。業務委託については、既存企業・新規企業へ、それぞれ取扱貨物の動向調査と分析を行っている。

令和6年12月2日から新規の国民健康保険証が廃止

保険証廃止後も令和6年12月1日時点でお手元にある
保険証は有効期限の令和7年7月末まで使用可能

令和5年度焼津市国民健康保険 事業特別会計歳入歳出決算認定

Q 一般被保険者療養給付費に4億4800万円余の不要額が生じている要因は何か。

A 被保険者数の減少が要因であると考えている。

Q 国保税の滞納件数の状況は。

A 令和4年度が2221人であったのに対し、令和5年度は1928人であり、293人の減である。

Q 特定健診の受診率が例年35%程度で増えていないが、受診勧奨の対応は。

A 委託料により、データ分析を行い、また未受診者に対して過去の健診データの分析内容を記載した勧奨通知を送付した。

令和5年度焼津市介護保険事業 特別会計歳入歳出決算認定

Q 高齢者保健福祉用具給付等事業の内訳及び件数、対象者は。

A 全額補聴器の購入補助に係るものであり、件数は71件、対象者は65歳以上の市内在住者のうち、住民税非課税者である。

Q 特別養護老人ホームの待機者の状況は。

A 令和5年4月1日時点で40人であると県が公表しているが、令和6年4月1日時点の人数は未だ公表されていない。



焼津市国民健康保険条例の一部 を改正する条例の制定について

Q マイナ保険証のメリットとして処方・調剤された薬の情報が即時確認できることが挙げられているが、実際にはデータ反映に1か月半程度の期間を要するのではないか。

A お見込のとおり。

Q マイナ保険証の利用登録の解除申請の開始時期は。

A 厚生労働省より令和6年10月末

以降を目途に受付を開始する予定であると事務連絡を受けているが、具体的な日程等詳細は今後国から示される予定となっている。

Q 12月2日以降、紙の保険証廃止に伴い混乱が生じないか。

A 現状の紙の保険証は有効期限である令和7年7月末まで利用可能であり、マイナ保険証の利用登録をしていない方に対しては、7月末までに資格確認書を発行するため、混乱は生じないと考えている。

静岡県後期高齢者医療広域 連合規約の変更について

Q マイナ保険証の利用登録をしていない人に交付される資格確認書のサイズ及び負担割合の表記は。

A 現在の被保険者証と同じ大きさであり、負担割合の表記もされる。

Q 資格確認書は1年更新か。

A 従来の被保険者証と同様に8月1日から7月31日までの1年更新であり、令和7年7月中に発送する。

台風第10号被害の早期復旧へ

災害復旧補正予算を審査

令和6年度 補正予算

台風第10号被害対応

Q 道路や河川等の補修内容は。

A 市内の道路24路線の40か所について、舗装の穴開きなど破損の補修を行う。また、幹線道路脇の集水ますに堆積した土砂の清掃を行う。他にも、準用河川3か所、普通河川5か所のしゅんせつ、斎場入り口の管渠かんきょの補修、マンホールの補修、高草川の陸間りゅうの補修、志太田中川のごみ除去などを行う。

女性相談事業費

Q 相談室を増設することだが、年度途中から実施する理由は。

A 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行され、市としても速やかに女性相談の体制を整える必要があると判断したため。

Q 今後も予約が必要か。

A 直接来庁された方にも対応する。

Q 相談対応はどこでしてくれるのか。

A 本庁舎で行う。

令和5年度 決算(総務文教分科会 所管分)

不登校児等適応指導・就学支援費

Q 相談窓口に行くことが難しい児童等への支援は。

A 関係機関と繋がっていない不登校児童をゼロにする目標を立て、学校から不登校児童のいる家庭に対してアプローチをする手段を考えている。



旧東益津幼稚園に市内3か所目となる教育支援センター「東益津チャレンジ」を開所(写真は10月1日の開所式の様子)

学校情報化推進費

Q 電子黒板を使用することで、教育内容等の改善はみられたか。

A 全国学力・学習状況調査のICTの活用について、焼津市は全国に比べて小・中学校とも約2倍、ほぼ毎日使っていると回答している。

消防団の力向上モデル事業費

Q スマートフォン22台、タブレット18台などを購入した経緯は。

A 国の補助事業があり、それに応募し採択されたものである。全18分団に1台ずつ配備し、火事が起こった際、発災場所や消防車両の位置がスマホやタブレットで分かるようになった。

Q 残り4台分はどうなるか。

A 女性隊、ドローン隊と本部に2台を配備した。

防災備蓄資機材整備事業費

Q お米と飲料水の備蓄数は。

A アルファ化米は400箱、水は550箱を購入した。賞味期限が来たものを新しく補充するようなものがある。

Q 1箱は何個入りか。

A 1箱50袋入っており、50人分の食糧となっている。

※「台風10号被害対応」については、9月4日に開催された委員会の内容を掲載しております。

令和5年度 決算（市民福祉分科会 所管分）

交通安全啓発事業費

Q 市内の交通事故の発生状況から、決算に対しての評価はどうか。

A 交通安全教室を220回、延べ1万3325人に対して行い、多くの方に啓発がされたと考えている。

Q 交通安全教室の内容の工夫は。

A 高齢者の事故が多いため、団体に属していない高齢者へ特に力を入れて啓発することを検討している。

子ども・子育て支援事業計画推進事業費

Q 費用の内訳は。

A 子ども・子育て会議の委員報酬等が13万7500円、こども計画を策定する業務委託が341万円、アンケート郵送代が49万5910円である。

Q アンケートの結果の公表は。

A HPに結果の概要版を掲載している。完全な結果は、こども計画策定時に併せてお示しする予定である。

公共施設太陽光発電設備等事業費

Q 電気自動車用充電設備等の導入可能性調査の結果は。

A 市内の234施設を調査し、優先的に設置できる10施設を抽出した。そのうち特に有望な5施設については概略の設計まで行った。

高齢者いきいきおでかけ支援事業費（価格高騰追加支援）

Q 交付した商品券の使用率は。

A 商品券発行額1億147万5千円に対し、実際に使用された商品券の請求額は9722万円、執行率は95・81%であった。

Q 70歳以上の全対象者に届いたか。

A 全員に郵送したが、住所変更や施設入所等の理由により、複数回送付を試みたが、どうしても所在が分からなかったものについては送付が出来ていない。

令和5年度 決算（建設経済分科会 所管分）

出合い・結婚サポート事業費

Q 事業に対する評価は。

A 県及び県内35市町で構成するふじのくに結婚応援協議会が運営するふじのくに出合いサポートセンターについて、焼津市から51名が参加し、5名が成婚した。協議会に対し市が払う負担金が15万円のため、費用対効果はかなり高いと評価している。

Q 参加者を増やすための工夫は。

A 企業や美容室へのチラシ等の配布、LINEでのPRを行った。

Q 令和4年度の実績は。

A 成婚が1名のみであった。

交通対策費

Q 自主運行バスの委託先との協議事項は。

A 運行経路の短縮や時間の見直しは、委託先との協議を随時行っている。

Q 路線バスを、自主運行バスやデマンドタクシーに転換する基準は。

A 路線バスが廃止された区間をカバーするため自主運行バスを運行しているが、全体的な再編は今後の利用状況を見ながら検討していく。

水防監視システム設置事業費

Q 冠水センサーを3基設置したとのことだが、どういったものか。

A ある一定の期間道路が浸水すると、装置から市へ連絡があるとあったものである。

Q 全体では何基あるのか。

A 令和5年度から設置を始め、中港と浜当目の地下道に1基ずつ設置するなど、計5基を設置している。



特別委員会行政視察報告

◎ 2 特別委員会合同視察（令和6年7月24日～26日） 議会運営委員会・議会改革検討特別委員会

◇ 議会報告会、常任委員会終了後の自由討議（佐賀県鳥栖市）

報告会は議会報告会と、常任委員会ごとに決めたテーマに基づいたグループワークの2部制。自由討議は議会基本条例制定の協議にて「議会は討論の場であり合議機関である」との原則により合意形成。



◇ 議会報告会、議会ICT（長崎県諫早市）

報告会は年1回以上開催。各常任委員会の調査研究活動の取り組み状況について市民との意見交換を実施。タブレット端末は平成28年度に本格導入し、ペーパーレスによる資料配布を徹底。

◇ 議会ICT、新庁舎建設による議場及び委員会室の設備（長崎県長崎市）

議場・委員会室に大型モニターを導入。電子表決システムを導入。ペーパーレス会議を試行開始。議場傍聴席にてAIによるリアルタイム字幕表示を開始。



視察報告書は議会ホームページでご覧いただくことができます。
(アップロードまでお時間をいただくことがあります。)



意見書



市の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめ、国会や関係する省庁に意見書として提出をするものです。

下記に一部を抜粋して掲載しておりますので、全文をご覧になりたい方は二次元コードから、「2024年(令和6年)9月定例会」の項目をご覧ください。

地震財特法の延長に関する意見書

東海地震に備えて、地震防災対策強化地域である本市は、静岡県が作成した地震対策緊急整備事業計画に基づき、各般にわたる地震対策を鋭意講じているところである。

この計画は令和6年度末で期限切れを迎えるが、依然として必要な事業が数多く残されている。

国においては、地震対策緊急整備事業計画の根拠となっている「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」を延長するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

地方自治法第99条の規定により提出する。

<提出先>

衆参両院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣

第1回議会報告会

高校生と議員の意見交換会を実施！



10月7日、市役所本庁舎にて松薫学園焼津高等学校の生徒代表10名との議会報告会を実施しました。高校生の皆さんから様々なご質問やご提案をいただき、議員との積極的な意見交換が行われました。

11月の市議会



日程は変更になる場合がありますので、最新の情報はHPなどでご確認ください。

本会議の様子は、インターネット中継でもご覧いただけます。

日	曜日	内 容	開会時間
11/11	月	本会議（議案の上程）	9:00
11/26	火	本会議（一般質問）	9:00
11/27	水	本会議（一般質問・質疑）	9:00
11/28	木	常任委員会	9:00
12/6	金	本会議（委員長報告・質疑・討論・採決）	9:00

編 集 後 記

米国・大リーグで大谷翔平選手が今シーズン前人未達の「54本塁打59盗塁」を達成した。偉大な記録とともに称賛されているのは、彼が試合や練習中でもゴミ拾いなどで周囲に尽くす姿だ。脳科学では「他者の役に立ちたいとの心を磨くことが、自らの脳の力を発揮する土台となる」という。私たち議員も市民の

皆さまの声を市政に届けながら、安心・安全に暮らせる焼津市のまちづくりのために、英知を出し合って全力で取り組んで参ります。

（川島）

やいづ市議会広報特別委員会

河合一也、深田ゆり子、四之宮慎一
村田正春、原崎洋一、川島要



この広報紙は植物性インクを使用しています